

# 公明党だからこそ、実現できました！

子育て・女性支援

## パパ・ママ応援ショップ 協賛店舗・事業所数が 約9000カ所に拡充！ さらに拡大します！

中学3年生までの子どもまたは妊娠中の人がいる家庭に配布される「パパ・ママ応援ショップ優待カード」を協賛店舗で提示すると割引などのサービスが受けられます。



## 妊婦健診の公費助成が 14回まで拡充されました！

昨年、妊婦健診の公費助成が5回に拡大、併せて初回の無料健診にC型肝炎、出血リスク、糖尿病、子宮頸がんの検査が追加になりましたが、今年から公費助成が14回まで拡大しました。



## 子宮頸がん、乳がんの 検診無料クーポン券と 検診手帳が交付されます！

国の21年度補正予算に検診無料クーポン券と検診手帳の交付が盛り込まれました。埼玉県の場合、無料クーポン券の配布対象者数は、子宮頸がん（20歳、25歳、30歳、35歳、40歳）、乳がん（40歳、45歳、50歳、55歳、60歳）、とともに約25万人になります。

雇用対策

## 非正規雇用者支援の 拡充と緊急雇用対策で 新たな雇用を創出！

求職者職業訓練の対象者を3205人に拡充しました（民間教育訓練機関等への委託訓練1845人、障がい者への訓練310人、高等技術専門校内訓練1050人）。また、国のふるさと雇用再生基金事業・緊急雇用創出基金事業を活用して埼玉県全体で約7600人の雇用創出を行います。

中小企業支援

## セーフティーネット関連の 県制度融資を拡充！ 据置期間も 1年から2年に延長！

中小企業の資金繰り支援を強化するため、セーフティーネット緊急融資と要件緩和型経営安定資金を新設してセーフティーネット関連融資を拡充したほか、据置期間を1年から2年に延長しました。融資枠も4500億円に300億円増やしました。



教育支援

## 日本一の高校生向け 奨学金制度が拡充！

月額奨学金（国公立2.5万円、私立4万円）、入学一時金（国公立10万円、私立25万円）は日本一。21年度は、不況の影響による希望者増加を見込んで貸与枠を6200人から6800人に拡充しました。



## 私立高等学校授業料の 父母負担軽減で認定基準を 緩和！対象枠も拡大！

家計急変に伴う父母負担軽減の認定基準を緩和し、所得が半分以下になるような著しい収入減も対象になりました。また、家計急変世帯に対する補助枠を134人から336人に2.5倍に拡充しました。

安心・安全

## 既設道路の信号機等の 増設や道路標識の 老朽化解消を進めます！

交通事故の危険が高い既設道路における緊急的な事故防止対策を図るため、交差点や学校・病院等の施設付近への信号機等を増設します。また、道路標識の老朽化点検を行い、損傷や腐食がひどい場合には新しいものに交換します。